

寄贈図書リスト

未来の夜空はどう見える？ 銀河が教えてくれるこ

と、谷口義明，新書版，212ページ，940円＋税，
岩波書店

月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日に締切り，翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。ご投稿いただいた記事は，翌月初旬に一度校正をお願いいたします。

記事の投稿は，e-mailでtougou@geppou.asj.or.jp宛にお送りください。折り返し，受領の連絡をいたします。

人事公募

核融合科学研究所 教授／准教授／助教

- 募集人員：①若干名 ②（女性限定）1名程度
- （1）所属分野：核融合科学（学際）
（2）勤務地：岐阜県土岐市下石町322-6
4. 専門分野／職務内容・担当科目：核融合科学研究所は，学際的展開による大学等との連携の強化及び広い分野への頭脳循環の拡大による核融合開発研究の持続的な推進のため，ミクロ集団現象プロジェクトの推進及び研究プラットフォームの整備・運用・拡充を進めています。独創性とともにより高いコミュニケーション能力をもち，核融合科学の学際的展開を先導でき，ミクロ集団現象プロジェクトの推進及び研究プラットフォームの整備等にも貢献できる研究者を募集します。
- （1）着任時期：採用決定後のなるべく早い時期
（2）任期：任期無し
- 応募資格：博士の学位を有すること 等
- 提出書類：
 - 履歴書
 - これまでの研究内容
 - 就任後の抱負：所属を希望するユニット名，ユニットにおける研究計画，及び希望する職種（教授，准教授又は助教）を記入。
 - 研究業績発表論文リスト
 - 論文別刷：直近3年間に出版された3編以上を含む，計5編程度。（助教応募者のみ学位論文及び投稿中又は投稿予定でも可，3編程度。）
 - （5）の概要と本人の貢献を記載した文書
 - 推薦書：推薦書2通以上（助教を希望する応募者のみ，推薦書1通。）

（1）～（6）についてはPDFファイルとしてE-mailに添付して，①「研究教育職員 応募希望」②「研究教育職員（女性限定）応募希望」という件名で提出。（7）は推薦者がPDFファイルをE-mailに添付するか，郵送にて提出。

- 応募締切：令和7年9月22日（月）17時必着
- （1）提出先：核融合科学研究所管理部総務企画課人事係
E-mail: nifs-jinji@nifs.ac.jp
（2）問合せ先：
 - 提出書類について
核融合科学研究所管理部総務企画課人事係
電話0572-58-2022（直通）
 - 研究内容等について
核融合科学研究所 副所長 藤堂 泰
E-mail: todo@nifs.ac.jp
- その他（待遇など）：
その他詳細は以下を参照ください。
<https://www.nifs.ac.jp/about/recruit/>

研究会・集会案内

「東京大学木曽観測所及び名古屋大学宇宙地球環境研究所」 特別公開・特別講演会のお知らせ

東京大学木曽観測所及び名古屋大学宇宙地球環境研究所では，9月27日（土）に施設の特別公開を行います。望遠鏡や観測装置を間近に見ることができる他，夜には天体観望会も行います。9月28日（日）には木曽文化公園の広い会場へ場所を移し，渡部潤一先生の講演会を開催します。講演会はYouTubeでの中継も行いますので，会場へ来られない方もぜひお楽しみください。

【施設公開】

- ・開催日時：2025年9月27日(土) 13時～20時30分
- ・プログラム：
 - *13:00～17:30 望遠鏡デモンストレーション、研究紹介など
 - *14:30～15:30 ミニ講演会
講師：高橋英則（東京大学木曽観測所 助教）
タイトル：『天文学者は高いところが好き!』
 - *18:30～20:30 天体観望会（雨天中止）
- ・開催場所：東京大学木曽観測所（長野県木曽郡木曽町三岳10762-30）
- ・交通：JR中央西線木曽福島駅または上松駅から車で約30分

【特別講演会】

- ・開催日時：2025年9月28日(日) 14時30分～16時（14時開場）
 - ・講演内容：
 - 講師：渡部潤一氏（国立天文台 上席教授）
 - タイトル：『彗星の謎—予測通りにならないから面白い—』
 - ・開催場所：木曽文化公園 文化ホール（長野県木曽郡木曽町日義4898-37）
 - ・交通：JR中央西線木曽福島駅から車で約10分
または路線バス 木曽駒高原線「文化公園入口」下車
- 共催：木曽広域連合、木曽文化公園
問い合わせ先：木曽観測所 TEL: 0264-52-3360
木曽観測所ホームページ：

<http://www.ioa.s.u-tokyo.ac.jp/kisohp/>

名古屋大学宇宙地球環境研究所 ホームページ：

<http://stsw1.isee.nagoya-u.ac.jp/>

※施設公開・特別講演会ともに事前申し込みは不要で、入場無料です。

※講演会はYouTubeでもライブ配信します。

賞の推薦

公益財団法人天文学振興財団 令和7年度天文学業績表彰応募

当財団は、社会における天文学の振興に寄与するため、天文学に関連する分野での顕著な業績に対して表彰をいたします。

公益財団法人天文学振興財団 理事長 観山正見

1. 応募種目

[1] 古在由秀賞

- (1) 選考基準（以下のいずれかに該当する者）
- ①広い意味で理論天文研究において顕著な業績をあげた研究者
 - ②天文学の広報普及に貢献した者（アマチュアも含む）
 - ③広い意味で重力波天文学の貢献に顕著な業績をあげた研究者
 - ④国際的に天文学の推進（特にアジアの天文学）に貢献した者
 - ⑤天文学の推進に関して管理運営等において優れた業績をあげた者

(2) 対象

- ・当該年度当初において45歳以下であること（個人または研究グループの代表者）。また、応募は推薦に依るものといたしますが、他薦・自薦の別は問いません。

[2] 吉田庄一郎記念・ニコン天文学業績賞

- (1) 選考基準（以下のいずれかに該当する者）
- ・新たな天体観測手法の研究・開発で顕著な業績をあげた者
 - ・天体観測技術の研究または開発分野で顕著な業績を挙げた者
 - ・新たな天体観測手法・装置の研究・開発を通じて産業界の発展に顕著な寄与をなした者

(2) 対象

- ・当該年度当初において50歳以下であること（個人またはグループの代表者）。また、応募は推薦に依るものといたしますが、他薦・自薦の別は問いません。

2. 応募期限：両賞とも令和7年10月末日

3. 選考結果：両賞とも選考委員会で審査の上、結果ついて令和8年1月下旬に文書で通知します。

4. 申請方法：天文学振興財団ホームページ上にWordファイルとPDFファイルを掲載します。応募書類は、一つのPDFファイルにまとめて電子メールに添付し、応募期限までに以下のメールアドレス宛にお送りください。

shinsei@fpastron.jp

天文学振興財団より受理確認メールを返信いたします。

5. 問合せ先：公益財団法人天文学振興財団 事務局
〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1

国立天文台内

Tel: 0422-34-8801

Fax: 0422-34-4053

<http://www.fpastron.jp/>

2025 年度日本天文学会林忠四郎賞受賞候補者 および欧文研究報告論文賞受賞候補論文推薦 のお願い

林忠四郎賞選考委員会

標記の二つの賞について、受賞候補者と論文の推薦をお願いします。締切は両賞とも2025年11月4日(火)(必着)です。以下に述べるそれぞれの要領に従って記入した推薦書を、〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 日本天文学会宛に郵送してください(論文賞についてはe-mailも可)。なお、封筒には「林忠四郎賞候補者推薦書」または「欧文研究報告論文賞候補推薦書」と表記してください。特に返送等のお申し出がない限り、推薦書類は選考後に破棄します。授賞式は、林忠四郎賞については春季年会時、欧文研究報告論文賞については秋季年会時の会員全体集会にて行う予定です。林忠四郎賞の推薦は2年間有効です。欧文研究報告論文賞の推薦は毎年リセットされます。「原則として1年に2件以内」と内規に定めがありますので、優れた論文であっても受賞に至らない場合があります。その場合、優れた論文は複数回推薦していただくことを奨励します。

2025 年度(第30回)林 忠四郎賞推薦要領

この賞は、林忠四郎博士が1995年11月に第11回京都賞を授与されたのを記念し、「後進の天文学研究を奨励するため」として同博士より日本天文学会にいただいた寄付を基金にして設定されたものです。なお、本賞は、他薦のみとなっています。

対象：広い意味での天文学(天体物理学、宇宙物理学、他の関連テーマも含む)における独創的でかつ分野に寄与するところの大きい研究業績に対して授与する。

受賞資格：本年度当初においてすでに本会正会員である者(個人または少人数の研究グループ)。

授賞件数：原則として1件。

賞状等：本賞として賞状、副賞として賞牌(メダル)および賞金(30万円)を授与する。

推薦書の形式：表題は「2025年度林忠四郎賞候補者推薦書」としてください。A4サイズ用の用紙に、次の順序で横書きにしてください。

- 1) 候補者(被推薦者、連名授賞可)について：氏名(ふりがな)、生年月日、大学卒業年、現職および連絡先(電話、FAX、e-mail)

- 2) 授賞対象とする研究の表題(英語表記も併記)
- 3) 推薦者について：氏名(ふりがな)、現職、連絡先(電話、FAX、e-mail)、被推薦者との関係
- 4) 推薦理由の要旨(300字以内)
- 5) 推薦理由
- 6) 関連する論文のリスト
- 7) 添付資料として、推薦に関連して最も重要な論文のコピー(3編以内)

2025 年度(第30回)欧文研究報告論文賞推薦要領

この賞は、日本天文学会欧文研究報告(Publications of the Astronomical Society of Japan (PASJ))に出版された優れた論文を称賛し、今後も優れた論文が投稿・出版されることを奨励するために設定したものです。なお本賞の選考委員会は、林忠四郎賞選考委員会が兼ねています。

本賞は論文を対象とした賞であり、論文の著者(共著者を含む)からの推薦も可能です。

対象論文：原則として2020年12月から本賞締め切りまでに発行されたPASJに掲載された論文の中で、独創的で天文学分野に寄与の大きい、特に優れた論文をその対象とする。

授賞件数等：原則として2件以内。受賞論文の著者(共著の場合は、すべての共著者)に賞状を授与するとともに、受賞記念講演日より3年以内に投稿された論文一編について、その本文掲載料を無料にするともに、フリーアクセスにて公開する。

推薦書の形式：表題は「2025年度欧文研究報告論文賞候補推薦書」としてください。A4サイズの用紙(e-mailでも可)に、次の順序で横書きにしてください。

- 1) 候補論文について：論文題目、筆頭著者名、出版された巻、ページ、発行年
- 2) 推薦理由(1,000字程度)
- 3) 推薦者について：氏名(ふりがな)、現職、連絡先(電話、Fax、e-mail)
- 4) e-mailで推薦する場合はjimu@asj.or.jp宛に送信して、受領メールを必ず確認してください。

2025 年度（第 37 回）研究奨励賞候補者推薦のお願い

研究奨励賞選考委員会

本会は、優れた研究成果を上げている若手天文学者に対して、日本天文学会研究奨励賞を授与しています。受賞資格は

- 1) 日本天文学会正会員で、最近おおよそ5年間（※以下参照）における天文学への寄与が顕著なる者
- 2) 当該年度初日（2025年4月1日）にすでに正会員であってかつ博士学位取得後8年以内の者。ただし、産休・育休等やむを得ない事情により天文分野での活動に空白期間があれば、その年月は考慮する。

です。毎年3名以内を対象とし、賞状、賞牌（メダル）および賞金（10万円）を併せて授与しています。皆様からの多数の候補者の推薦（自薦も可）をお待ちしております。近年は女性候補者の推薦が少なくなっております。女性候補者の積極的な推薦をお願いします。選考委員会では推薦された方の中から、研究奨励賞内規に基づき選考を行い、候補者を代議員総会に推薦します。推薦にあたっては、被推薦者が当該年度の学会年会費を納入済みであることを確認してください。受賞候補者の推薦要領は以下の通りです。

- (1) 締切：2025年11月5日(水) 必着
- (2) 提出書類：○候補者氏名、会員番号、現職、博士学位取得年月日（産休・育休等やむを得ない事情により天文分野での活動に空白があることを考慮する場合にはその期間を記載してください）、○授賞対象とする研究の表題（英語表記も）、○推薦者の氏名、現職、連絡先（自薦の場合には候補者について聞くことのできる方を記載してください）、○推薦理由（300文字程度の要旨とA4で2～3枚程度の本文、※最近おおよそ5年間の業績を基本とし、それを遡る数年間にも主業績に至る一連の萌芽の研究があれば積極的に記載して下さい）、○関連論文リスト、○推薦に関連して最も重要な論文のコピー（3編以内）
- (3) 提出先：下記webサイトへのPDFファイルアップロード
webサイト：<https://www.asj.or.jp/jp/activities/prize/shorei/> を通じてPDFファイルをアップロードしていただきます。提出書類を一つのPDFにまとめ、ファイル名を「2025kenkyushorei_full_name」として頂き、webサイトから必要事項をご記入の

上でアップロードして下さい。“full_name”は候補者の氏名です。

2025 年度（第 25 回）天文功労賞 候補者推薦のお願い

天体発見賞選考委員会

この賞は、研究機関外での天文活動、例えば長年に亘る天体観測や、突発的な現象の検出・通報などを称賛し、奨励するためのものです。賞の対象となる功績は、天体発見賞・天体発見功労賞の枠に収まらない天文観測・研究活動です。対象者は、日本在住者、日本国籍を有する個人、または日本に本拠地を置く団体であって、天文学研究を主たる業務としない者（団体）とします。日本天文学会の会員であるかどうかは問いません。選考は、天体発見賞選考委員会が行い、候補者（団体）を代議員総会に推薦します。

この天文功労賞につきまして、日本天文学会の会員の方々からの候補者（団体）の推薦を、広く募集します。A4紙1枚程度で、候補者（団体）名、功績題目（1行程度）、功績の説明を書いていただき、日本天文学会事務所（〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内、Fax: 0422-31-5487, e-mail: jimu@asj.or.jp）までお送りください。郵便・Fax・電子メールのいずれでも結構です。推薦は随時受け付けておりますが、今回の選考に確実に乗せるには、2025年11月14日(金)までにお送りください。なにとぞ多数のご推薦をよろしくお願いいたします。なお、推薦された候補について、2025年度に受賞対象とならなかった場合でも、当選考委員会において候補リストに登録し、翌年度以降の選考対象とします。このため、同一の推薦を翌年度以降に重ねて行う必要はありません。ただし、推薦内容に変更がある場合は、再度の提出をお願い致します。

2025 年度（第 8 回）天文教育普及賞候補者推薦のお願い

日本天文学会天文教育普及賞は、天文教育や普及活動の分野で特に顕著な貢献をされた個人や団体を顕彰し奨励して、教育普及活動のさらなる発展を期するものです。対象者は、日本国内・国外またはその両方で活動を行った日本在住者や日本国籍を有する個人、または日本に本拠地を置く団体、及び日本国内で行われた教育普及活動を実施した外国の個人または団体です。教育普及活動が本務の場合も、本来の業務を大きく超え、社会に強い影響を与え、多大な貢献をした場

合は対象となります。また、日本天文学会の会員であるかどうかは問いません。選考は天文教育普及賞選考委員会が行い、候補者を代議員総会に推薦します。

つきましては、日本天文学会正会員・準会員の方々から、候補者（団体）の推薦を広く募集します。A4紙1枚程度で、候補者（団体）名、活動名（1行程度）、活動内容の説明を記載し、必要に応じて補足資料（A4紙5枚程度まで）を添付のうえ、日本天文学会事務所（〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内/Fax: 0422-31-5487/jimu@asj.or.jp）にお送りください。フォーマットの指定は特にありません。郵便・Fax・電子メールのいずれでも結構です。

なお、連名で推薦される場合は全員が会員である必要はありません。推薦は随時受け付けておりますが、第8回の選考に確実に間に合わせるには、2025年9月30日（火）までにお送りいただくようお願いいたします。なお昨年度推薦いただいた候補者に関しては再推薦の必要はありません。なににご多数のご推薦をよろしくお願いいたします。

会 務 案 内

1. 公益社団法人日本天文学会2024年度（2024年4月1日～2025年3月31日）事業および決算の報告

事業・決算報告書の電子版を日本天文学会ホームページ上で公開しておりますが、書面による配布を希望される方には別途郵送いたしますので、学会事務局までご連絡ください。

1. 2024年度事業の報告

2024年9月の秋季年会（関西学院大学）、2025年3月の春季年会（水戸市民会館）ともに、現地での講演を基本としてオンラインでも聴講できるハイブリッドで開催しました。助成金では、早川基金として海外研究活動のための渡航補助を29名（うち4名辞退）に総額約591万円、学術交流費として年会学生発表者に総額約47万円を支給しました。それ以外の活動内容はおおむね例年通りでした。欧文研究報告、天文月報、年会予稿集、ジュニアセッション予稿集、シリーズ現代の天文学の刊行、各種委員会活動、各賞の授与、後援事業を行いました。学会としての「ハラスメント防止ガイドライン」策定に先立ち、「日本天文学会行動規範」を制定しました。詳しい事業報告は学会ホームページを参照して下さい。2025年3月31日現在の会員数は以下の通りです。

	正会員 (内学生)	準会員	団体 会員	賛助 会員	合計
2024年3月31日	2,314 (646)	968	35	46	3,363
入会	279 (249)	41	0	1	321
退会・除籍等 (うち除籍) ^{注1}	△189 (117) (△26 (0))	△81 (△13)	0 (0)	△1 (0)	△271 (△25)
移籍（増） ^{注2}	5(1)	8	—	—	13
移籍（減） ^{注2}	△8(0)	△5	—	—	△13
正会員へ (学生減) ^{注3}	(△106)	—	—	—	—
2025年3月31日	2,401 (673)	931	35	46	3,413

(注1：除籍とは会費未納による資格喪失を指す)

(注2：移籍とは正会員、準会員との間の移動のことを指す)

(注3：学割扱いの正会員から通常の正会員への移動を指す)

2. 2024年度決算の報告

2024年度の経常収益は前年度より975,070円増、経常費用は同61,218円増、学会の正味財産は2,335,808円増加し144,911,591円となりました。受取会費は前年度より418,000円増加し42,256,000円でした。

欧文研究報告（PASJ）事業では、物価高の影響で経費が増加し、ポンド建ての収支は前年度と比較して減少しましたが、円安が進行した影響で本年度も収益が経費を上回りました。出版頁数は微増でした。年会事業では、秋季春季両年会共に現地＋オンラインのハイブリッド開催となりました。年会のハイブリッド開催の経験が蓄積されたことから、収益と経費の見通しの確度が高まりました。賛助会費と寄付で運営されている助成事業では、学術交流費基金、国内研修支援金基金、研究奨励賞基金、早川幸男基金、林賞基金に寄付をいただきました。支援に感謝いたします。

2024年度の公益目的事業会計は1,663,461円の赤字となり、昨年度に続き赤字となりました。2021年度、2022年度と続いた黒字とバランスする形となり、公益社団法人の要件である、中期的期間での収支の均衡が達成されています。今年度の公益目的事業会計は、リモート会議の普及による旅費の削減、年会開催地及び開催形式に依存した年会コストの変動、物価高、PASJ事業への為替の影響等、様々な要因が積み重なった結果として赤字となったと分析しています。物価高、円安等外部要因に大きく影響を受ける側面は否めませんが、社会の状況を注視しつつ、適正な予算策定と公益社団法人の趣旨に沿った柔軟な予算執行を行うことで、健全な財政の維持に努めてまいります。事業別決算書内訳は以下のとおりです。

事業別決算書内訳表

2024年4月1日から2025年3月31日まで

公益社団法人 日本天文学会 (単位: 円)

科 目	公益目的事業					
	一般事業					
	共通事業	欧文事業	月報事業	年会事業	その他の事業	小 計
経常収益計	20,417,803	47,764,370	1,844,757	11,748,300	985,565	82,760,795
経常費用計	16,668,365	35,798,845	14,484,686	11,425,709	6,541,934	84,919,539
当期経常増減額	3,749,438	11,965,525	△ 12,639,929	322,591	△ 5,556,369	△ 2,158,744

科 目	公益目的事業会計						公益目的 事業計
	一般事業						
	学術交流費 事業	国内研修 支援金事業	研究奨励賞 事業	早川基金 事業	林賞事業	小 計	
経常収益計	725,797	550	721,281	4,043,947	451,693	5,943,268	88,704,063
経常費用計	481,207	550	470,588	4,043,947	451,693	5,447,985	90,367,524
当期経常増減額	244,590	0	250,693	0	0	495,283	△ 1,663,461

科 目	法人会計	内部取引 消去	合 計
経常収益計	20,613,459	0	109,317,522
経常費用計	17,733,473	0	108,100,997
当期経常増減額	2,879,986	0	1,216,525

入会・移籍・退会のお知らせ

2025年6月17日に開催された公益社団法人 日本天文学会理事会において、正式に入会・移籍が承認された方、退会が報告された方の人数をお知らせします。

入会 正会員: 43名 準会員: 6名
退会 正会員: 6名 準会員: 1名
移籍 準→正: 1名

2024 年度ご寄付者名

2024年度に日本天文学会へご寄付をいただいた方々です。深く感謝申し上げます。

(敬称略／受付順)
土肥明, 泉奈都子, 秋山和徳, 阿部昭, 星の手帖社,
宮崎聡, 早野裕

天文月報 118巻10月号 主な掲載予定記事

アストロバイオロジーセンター10周年特集 (3): 太陽系外における生命の天文学的探査【ビクトリア・メドウズ】

EUREKA: 宇宙線の「超新星残骸起源」を検証する【福井康雄・佐野栄俊】

天球義: ALMA 較正用天体の自動解析ツールの開発とその科学的応用【成田佳奈香・西田明正】

〈シリーズ〉海外の研究室から: 英国ハートフォードシャー大学でZ-groupを始めた【小林千晶】

〈シリーズ〉天文学者たちの昭和: 日江井榮二郎氏ロングインタビュー [第7回] アメリカ滞在【高橋慶太郎】

編集委員: 日下部展彦 (編集長), 岡本文典, 小山翔子, 志達めぐみ, 鈴木大介, 高橋葵, 田中壱, 谷川衝, 鳥海森, 中島亜紗美, 信川久実子, 橋本拓也, 福島肇, 藤澤幸太郎, 宮武広直, 宮本祐介, 守屋堯

令和7年8月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒162-0801 新宿区山吹町332-6 株式会社 国際文献社

定価733円 (本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487

振込口座: 郵便振替口座00160-1-13595 日本天文学会

三菱UFJ銀行 三鷹支店 (普) 4434400 公益社団法人 日本天文学会

日本天文学会のウェブサイト <https://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会 2025年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)